

◆中国・惠州学院での海外研修

2年生

本学では、夏休みや春休み期間中に海外の協定校などで語学・文化研修を実施しています。併設する札幌大学には、欧米やアジアに28の協定校があり、複数の留学・研修プログラムを用意しており、女子短期大学部の学生もこれらのプログラムに参加することができます。

春休みを利用して、キャリアデザイン学科の学生2人が札幌大学の学生と引率の泉敬史教授(女子短期大学部専任教員・「中国語」担当)とともに、2月22日から3月16日までの23日間、中国・広東省の惠州学院での研修を体験しました。



惠州学院では、本学学生だけの特別編成クラスで中国語のリーディングや会話、発音などを実践的に学びました。中国語の授業以外にも、太極拳や書道などの中国文化体験、市内の惠州西湖や紅花湖、客家圍屋などの見学研修、惠州市に進出している日系企業「SONY惠州」、「惠州住潤電装有限公司」への企業訪問の実施など、充実したプログラムで中国の歴史や文化、社会を体感しました。

また、惠州学院の日本語学科の学生たちとの交流も組み込まれ、現地で行動を共にすることにより、コミュニケーション力を身に付けながら異文化への理解をいっそう深めたようです。

今回の研修に参加したキャリアデザイン学科2年の城川絵理さんは、「語学の授業だけではなく、積極的に街に出て買い物や食事をする中で、日本との違いを多く発見することができました。積極的にコミュニケーションをとるように心がけ、中国語の力も少しではありますが成長したと思います。現地学生との交流もお互いの国の文化や生活習慣について知る良い機会となりました」と貴重な体験を振り返りました。

異文化の中での学びや日常生活での交流を通して得た広い視野や国際感覚といった「体験知」を、今後の学生生活をはじめ、進路決定や職業選択の際に活かせるようになることを期待します。



＝中国・惠州学院＝

惠州学院のある惠州市は20年あまり前からソニーやプリヂストンなど多くの日系企業が進出し、2千人以上の日本人が生活している地方都市です。惠州学院はこの地域の人材育成に大きな貢献を果たしている高い教育力を備えた総合大学で、2013年に本学と交流協定を締結しました。



◆入学式と新入生オリエンテーション合宿を行いました

1年生

新年度となった4月1日(火)、札幌市内ニトリ文化ホールにおいて平成26年度の入学式が執り行われました。

桑原学長からは、「大学でスタートを切るにあたり、自らの目標を掲げてその達成に向かってチャレンジすること、また、それぞれの活動を通して、人との関わりを積極的に持つことが皆さんを魅力ある人間に成長させます。限りある学生生活を有意義に過ごしてください」との告辞がありました。

キャリアデザイン学科新入生を代表して、長尾寧音さんが「札幌大学女子短期大学部の学生として、自覚と誇りを持ち、何事にも積極的に取り組み、将来の夢や目標に向かって成長していきたいと思います」と力強く宣誓しました。

入学式終了後には、保護者向けの説明会を行い、キャリアデザイン学科専任教職員12人が保護者の皆さんと顔合わせし、学科の紹介、学生生活の過ごし方や就職支援についてお話ししました。



▲力強く宣誓する長尾さん

翌日の2日(水)からは、1泊2日のプログラムで、大学キャンパス内セミナーハウスで「新入生オリエンテーション合宿」を行いました。

オリエンテーションは、これから一緒に学ぶ仲間とコミュニケーションを深めるためのアイスブレイキング「バースデーライン」から始まりました。言葉を使わずに身振り手振りで自分の誕生日を相手に伝える簡単なゲームでしたが、緊張していた雰囲気から次第に笑みがこぼれ、新入生同士が打ち解けるきっかけとなりました。その後、学科の紹介や時間割の作成などの大学生活を送るうえで必要な情報のガイダンスや上級生から学生生活や授業などについてアドバイスを受けられる交流プログラムが行われました。また、キャリアデザインのグループワークでは、ファシリテーターのサポートを得ながら、それぞれの思いを胸に学生生活を初「デザイン」しました。

参加した新入生からは「合宿で初対面の人も仲良く話せるようになりました」「先輩のお話を聞いて体験プログラムに興味を持ちました」「これからの学生生活が楽しみになりました」などの声が聞かれ、新たな一歩を踏み出した新入生にとっては有意義な2日間となりました。



▲グループに分かれて自己紹介



▲経験を踏まえ先輩がキャンパスライフを紹介

※短大通信は、本学1年生・2年生の“今”をお伝えするため、学科開設以来、随時発行しています。